

2014

綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画

(綾の照葉樹林プロジェクト)

平成 26 年度事業報告書



綾の照葉樹林プロジェクト連携会議

九州森林管理局・宮崎県・綾町

(公財) 日本自然保護協会・(一社)てるはの森の会

綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画（綾の照葉樹林プロジェクト）

平成 26 年度事業報告書目次

目次.....	1
第Ⅲ期短期行動計画	3

報告書（報告書記載者名）

短期行動計画順に掲載

1. プロジェクト事務局運営事業（てるはの森の会）	5
2. 照葉樹林保護・復元のための有識者のヒアリングの実施（九州森林管理局）	6
3. 人工林から照葉樹林への復元事業（九州森林管理局）	7
4. 人工林から照葉樹林への復元事業（宮崎県）	8
5. 人工林から照葉樹林への保護復元（綾町）	9
6. 持続的林業経営エリアにおける森林整備（九州森林管理局）	10
7. 復元見本林の設置（九州森林管理局）	11
8. 照葉樹林復元ボランティア作業の実施（九州森林管理局）	12
9. 照葉樹林復元の間伐試行モニタリング及びシカ生息密度・復元の優先度区分に関する調査業務 （九州森林管理局）	13
10. 調査データの共有化のためのデータベースサイトの運営(日本自然保護協会).....	14
11. 環境教育のための行動計画を策定(九州森林管理局)	15
12. 照葉樹林環境教育講座（綾町）	16
13. 生涯学習講座（綾町）	17
14. 県有林造成事業（宮崎県）「人工林から照葉樹林への復元事業」と重複（8P）	8
15. 遊歩道整備ボランティア作業（てるはの森の会）	18
16. 会員情報（てるはの森の会）	19
17. 市民参加による自然林の復元調査及び自然林の調査（日本自然保護協会）	20
18. ホームページ等による情報発信及びリーフレット(英語版)の作成（九州森林管理局）	21
19. 保護林等の情報に関する HP の充実（九州森林管理局）	22
20. 普及啓発事業（てるはの森の会）	23
21. 綾プロ設立 10 周年事業の準備（てるはの森の会）	24
22. 照葉樹林文化シンポジウム運営補助（綾町）	25
23. 第 5 回照葉樹林研究フォーラムの開催（てるはの森の会）	26

24. 事業説明会の開催（九州森林管理局）	27
25. 照葉樹林ガイドボランティア事業の実施（てるはの森の会）	28
26. 森林セラピー基地整備事業（綾町）	29
27. 地域づくりワーキングの設置と運営（てるはの森の会）	30
28. 照葉大吊橋 森の驛運営事業（てるはの森の会）	31
29. ふれあい調査（てるはの森の会）	32
30. ユネスコエコパーク推進事業（綾町）綾ユネスコ エコパーク推進計画策定	33
31. ユネスコエコパーク推進事業（綾町）協議会の運営	34
32. ユネスコエコパーク推進事業（綾町）自然観察指導員連絡会の運営	35
33. ユネスコエコパーク推進事業（綾町）持続発展教育（ESD）とユネスコスクールの推進	36
34. ユネスコエコパークとの連携（綾町）	37
35. 綾BR（ユネスコエコパーク）地域 生物調査及び地域戦略策定事業（綾町）	38

(報告書の掲載方法) 1 事業を 1 頁にまとめ、短期行動計画の順に並べて掲載。

表左側は、短期行動計画。報告書記載者から右の項目は、記載担当者、事業名、連携先、掲載頁となっている。

綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画(綾の照葉樹林プロジェクト) 第Ⅲ期短期行動計画(平成 25 年～29 年度)

項目	項目	第Ⅲ期課題	行動計画	実施項目	主担当	報告書記載者	報告書記載事業名	連携先	頁
1	協働の体制づくり	綾の照葉樹林プロジェクトの推進のための基盤整備	1 協定書を見直し第Ⅳ期行動計画を作成する	① 協定書を延長するとともに必要に応じて内容の見直しを検討	全	T			
			2 森林計画の策定し、照葉樹林の復元、地域づくりを推進する	② 本プロジェクトを規定する森林計画を策定	全				
			3 事務局体制を確立し、安定的な事務局業務の運営を行う	① 安定的な財政基盤を確立	全				
				② 2 名以上の専従の雇用し、事務局業務運営を行う	全				
				③ 事務局運営のための事務所の整備	全	T	プロジェクト事務局運営事業	全	5
2	照葉樹林の保護	保護林の計画的・順応的保全管理を実施	1 保護林の保全管理計画を策定する	① 綾森林生態系保護地域の保全管理計画策定	国・NJ				
				② てるは郷土の森の保全管理計画策定	国・町				
				③ 県植物群落参考林の保全管理計画策定	県				
				④ 綾川上流緑の回廊モニタリング調査	国				
			2 保全管理計画に基づき適切な保全管理を行う	① 巡視体制の構築	全				
				② 管理施設(案内板・標識等)の整備	全				
				③ モニタリング調査	全				
3	照葉樹林の復元	照葉樹林への効果的・効率的な復元を推進	1 効果的・効率的な復元手法を確立する	① 復元の基本方針(構想)を策定する	国・NJ	国	照葉樹林保護・復元のための有識者のヒアリングの実施	全	6
				② 復元の手法の確立(復元手法マニュアルの作成)	国・NJ				
			2 計画的な施業を実施する	① 計画的な間伐の実施(国有林、県有林、町有林)	国・県・町	国	人工林から照葉樹林への復元事業		7
						県	人工林から照葉樹林への復元事業		8
						町	人工林から照葉樹林への保護復元		9
				② 持続的な林業経営を行うエリアにおける施業の実施	国	国	持続的な林業経営エリアにおける森林整備		10
			3 市民のプロジェクトへの参加を推進する	③ 復元見本林の設置	国・NJ	国	復元見本林の設置	NJ	11
				① 市民参加型の復元作業の実施	国	国	照葉樹林復元ボランティア作業の実施		12
4	照葉樹林の調査研究	照葉樹林を適切に復元するための調査研究を推進し、復元に反映	1 効果的・効率的な復元のための検討体制を構築する	① 調査研究ワーキンググループの設置、運営	国・NJ				
				② 基本方針に基づき調査・研究体制の整備	全				
				③ 他のワーキンググループ、調査研究機関との連携	全				
			2 調査・研究のための基本方針(構想)を策定し、計画的に調査を実施する	① 調査・研究の基本方針(構想)を策定	全				
				② 基本方針に基づき毎年度計画的な調査の実施	全	国	照葉樹林復元のための間伐試行モニタリング及びシカ生息密度・復元の優先度区分に関する調査	NJ	13
				③ 復元に必要なデータの収集と解析	国・NJ				
			3 復元効果を評価する調査研究を推進する	① 間伐後の復元状況を評価調査実施(国有林、県有林、町有林)	国・NJ				
				② データの収集、解析、復元方法へのフィードバック方法の確立	国・NJ				
			4 人工林等からの照葉樹林への復元手法等を検討する	① 間伐木の処理方法等についての検討	国・T・NJ				
			5 調査・研究成果の共有化及びデータベースを構築する	① 調査・研究成果の情報発信	全				
				② GISを活用した林小班ごとの復元に必要な情報の整備	国・NJ				
				③ 調査・研究成果の共有化・データベース化	国・NJ	NJ	調査データの共有化のためのデータベースサイトの運営	T	14

綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画(綾の照葉樹林プロジェクト)

第Ⅲ期短期行動計画(平成 25 年～29 年度)

項目	項目	第Ⅲ期課題	行動計画	実施項目	主担当	報告書記載者	報告書記載事業名	連携先	頁	
5	照葉樹林を通しての環境教育	照葉樹林の重要性を学ぶ環境教育の実施	1 環境教育プログラムを策定、実践	① 環境教育を実施するための行動計画を策定	全	国	環境教育のための行動計画を策定	全	15	
				② 環境教育エリア内の必要な整備計画を策定	全					
				③ 環境教育プログラムを検討し、試行的に実施	国・町・T	町	照葉樹林環境教育講座	T	16	
				④ 環境教育エリア内の環境整備	国		生涯学習講座	T	17	
			2 大吊橋周辺、川中自然公園の活用方法を検討、整備を行うとともに環境教育を実践する	① 大吊り橋周辺、川中自然公園の環境教育に関する活用方法の検討	T					
				② 必要なルート整備を実施	県・町	県	県有林造成事業（3-2-1 事業と重複）		8	
				③ 崩壊した九州自然歩道について新たなルートを検討し、今後の活用方法について提案	県	T	遊歩道整備ボランティア作業	県・町	18	
6	プロジェクトの情報発信	情報発信及び支援の輪の拡大活動	1 市民や民間企業参画のためのシステムやメニューづくりを行い、プロジェクトを推進する	① 綾プロの支援メニューづくり・企業の支援メニューづくりを検討し、実践	T					
				② サポーターの募集を行い、会員を増やす	全	T	会員情報	全	19	
				③ 市民参加型の林床調査を実施する（国有林、県有林、町有林）	全	NJ	市民参加による自然林の復元調査及び自然林の調査	T	20	
			2 広く一般にプロジェクトの内容を知ってもらい、会員の拡大を図る	① パンフレット、リーフレットの作成及び配布	全					
				② ニュースレター、報告書の作成及び配布	全					
				③ HP の作成及び更新	全	国	ホームページ等による情報発信及びリーフレット（英語版）の作成		21	
						国	保護林等の情報に関する HP の充実		22	
						T	普及啓発事業	全	23	
				④ ファーラム・シンポジウムを実施	町・T	T	綾プロ設立 10 周年事業の準備	全	24	
						町	照葉樹林文化シンポジウム運営補助		25	
			⑤ 事業説明会の実施	全	国	第 5 回照葉樹林研究フォーラムの開催	全	26		
			3 ガイドボランティアを養成し、市民の理解を深め、てるはの森の会の会員増加を図る	① ガイドボランティア事業の実施・養成	T	T	事業説明会の開催	全	27	
					② ガイドボランティアがガイドを通して市民に綾プロを理解してもらうためのプログラム作り	T				
				4 森林セラピー基地としての綾町の取り組みを通して、会員増加を図る	① 森の案内人を通した照葉樹林の新たな活用方法を検討し森林セラピープログラムを作成	町	町	照葉樹林ガイドボランティア事業の実施	町	28
					② ガイドボランティアとの連携体制についての検討	町・T				
				7	照葉樹林と共生した地域づくり	自然と共生した地域づくり	1 市民との協働で実施する運営体制を構築し、市民が積極的に綾プロに参画できるようにする	① 地域づくりワーキングの設置及び運営	町・T	T
② てるはの森の驛の活用方法を検討し、それに応じて必要な整備	町・T	T	協議会の運営						34	
③ ふれあい調査の実施	NJ・町・T	T	自然観察指導員連絡会の運営					NJ	35	
2 綾町の他の事業との連携のあり方を検討し、実行計画を策定する	①活用方法を検討する市民協議会・ワーキングの設置	町・T					持続発展教育（ESD）とユネスコスクールの推進		36	
	3 綾ユネスコエコパークとの連携による綾プロを推進する	① ユネスコエコパーク推進事業	町				町	ユネスコ エコパークとの連携		37
町										
町										
町										
8	生物多様性の保全管理	生物多様性の保全管理	1 生物多様性保全のための戦略等を策定する				① 綾町の里山周辺の植生調査	NJ		
				② 生物多様性地域戦略策定～ワーキングの設置及び運営	NJ・町・T					
				③ 生物多様性地域戦略の策定	全	町	綾 BR（ユネスコエコパーク）地域 生物調査及び 地域戦略 策定事業	NJ・T	38	
				④ 生物多様性地域戦略の実施	全					

国は九州森林管理局、県は宮崎県、町は綾町、NJ は日本自然保護協会、T はてるはの森の会の略

事業名	プロジェクト事務局運営事業	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画 -実施項目	1-3-③	連携先	連携会議
事業概要 (目的)	関係機関との調整、問合せ対応、事業の企画運営などを行なう。 年2回開催の連携会議、月1回開催の連絡調整会議の連絡調整、資料作成等の準備を行う。		
○連携会議			
	回	日時	主な議題
	20	6月27日	平成25年度の事業報告、平成26年度の事業計画 森林環境教育基本計画策定部会報告、 10周年記念行事報告、有識者会議報告、 第3期行動計画見直しについて
	21	2月10日	平成26年度の事業取組状況 10周年記念行事について、事業説明会について 綾プロ管理計画策定の日程、綾プロの運営について
○連絡調整会議			
	回数	日時	主な議題
	1	4月24日	報告書と日程調整について 環境教育基本計画策定及び10周年記念行事計画策定 スケジュールについて
	2	5月30日	連携会議議題について、10周年記念行事について 森林環境教育基本計画策定部会について
	3	6月27日	連携会議議題について 森林環境教育基本計画策定部会及び綾プロ10周年記 念行事実行委員会について
	4	7月25日	森林環境教育基本計画策定部会について 綾プロ10周年記念行事実行委員会について
	5	8月29日	森林環境教育基本計画策定部会及び綾プロ10周年記 念行事実行委員会経過報告、間伐作業について
	6	9月25日	間伐作業について 綾プロ10周年記念行事について
	7	10月23日	間伐作業、綾プロ10周年記念行事について
	8	11月28日	間伐作業・連携会議・説明会について 綾プロ10周年記念行事について
	9	12月25日	連携会議・説明会・間伐作業について 綾プロ10周年記念行事、綾プロ内不法投棄について
	10	1月29日	連携会議・説明会・間伐作業について 綾プロ10周年記念行事について
	11	2月20日	間伐作業について 10周年記念行事について、報告書について
	12	3月24日	10周年記念行事について 連携会議について

事業名	照葉樹林保護・復元のための有識者のヒアリングの実施	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	3-1-①	連携先	連絡会議各機関
事業概要 (目的)	綾の照葉樹林プロジェクトにおける照葉樹林の保護・復元のため有識者からヒアリングを行う。		
平成27年3月の開催に向け調整を行ったが不調となったことから、平成26年度の開催を見送ることとした。			

事業名	人工林から照葉樹林への復元事業	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	3-2-①	連携先	
事業概要 (目的)	綾の照葉樹林プロジェクト復元エリアの国有林内において、人工林を照葉樹林に復元するための間伐作業を実施した。		

綾の照葉樹林プロジェクトエリア毎の復元作業内容

○ エリア 3、5

保護林と保護林との間にある復元エリアのスギ・ヒノキ人工林を抜き切りし、かつての照葉樹林へ復元する作業を実施

・間伐面積

43.19ha（2098ち外12）

間伐状況（2100林班）



事業名	人工林から照葉樹林への復元事業（継続） 県有林造成事業（継続）	実施主体	宮崎県
項目-行動計画- 実施項目	3-2-① 5-2-②	連携先	
事業概要 （目的）	針・広混交林化を進めるエリア等において、スギ人工林の間伐、林道・管理道の維持管理（法面崩土除去・復旧、風倒木撤去）を実施した。		

※短期行動計画の内容に重複する部分があることから、2項目の事業報告をまとめて行う。

1 間伐（列状間伐30%）

（1）場 所 針・広混交林化を進めるエリア（28林班）

（2）面 積 5.98ha



間伐前



間伐後

2 林道・管理道維持管理（法面崩土除去・復旧、風倒木撤去）

（1）場 所 復元を図るエリア（24林班）、針・広混交林化を進めるエリア（27林班）

（2）面積等 林道綾南線238㎡（モルタル吹付）、県道宮崎須木線沿い風倒木等



林道災害



法面復旧



風倒木撤去



風倒木撤去

事業名	人工林から照葉樹林への保護復元	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	3-2-①	連携先	
事業概要 (目的)	綾プロエリア内の町有林の保護、復元に伴う間伐		
■ 町有林の間伐については、ほぼ完了。平成26年度は、実施せず。 今後の状況に応じて検証の上、必要であれば除伐等も検討。			

事業名	持続的林業経営エリアにおける森林整備	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	3-2-②	連携先	
事業概要 (目的)	綾の照葉樹林プロジェクトの持続的林業経営エリアにおいて、水土保持機能を高めるため保育間伐等を実施した。		

綾の照葉樹林プロジェクト持続的林業経営エリアの作業内容

1 エリア 1 1

水土保持機能を高めるための保育間伐作業を実施
間伐面積：36.95ha

2 エリア 10

間伐作業等に必要な林業専用道の整備を実施
延長：900m

間伐状況（2 1 2 3 林班）

林業専用道整備状況（2 1 3 9 林班）



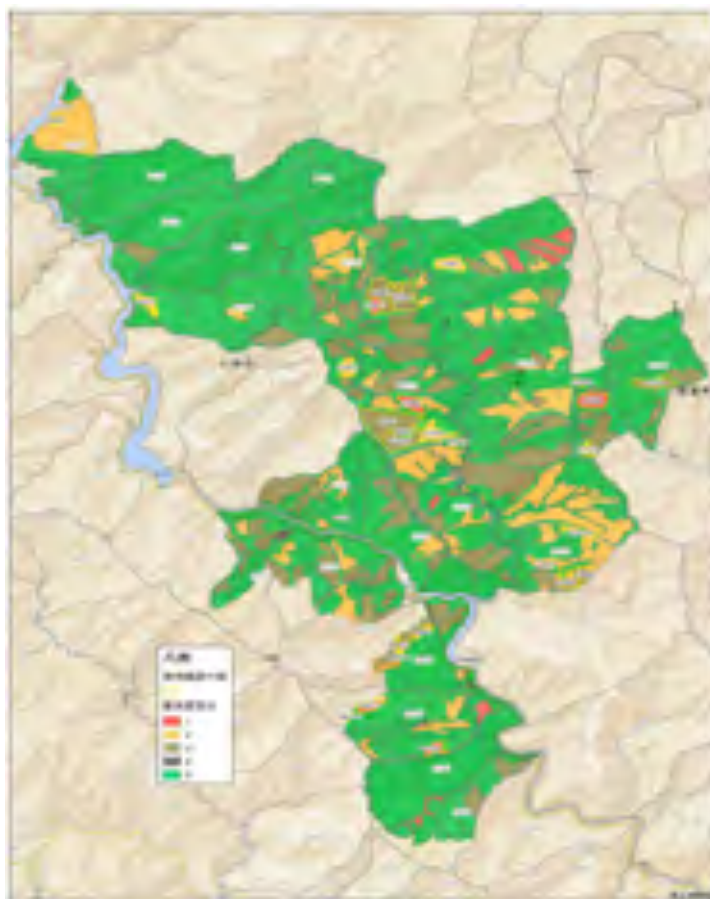


事業名	復元見本林の設置	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	3-2-③	連携先	NACS - J
事業概要 (目的)	綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画の事業実施に伴い、復元見本林の設置を行う。		

見本林の設置に適した候補地の選定を行うため、復元の優先度区分マップを作成した。

照葉樹林の委託調査事業において、復元エリアN o 3. 5. 6の人工林の優先度区分調査を実施。今後、日本自然保護協会や事業実行する宮崎森林管理署と優先度区分の高い小班の中から復元の見本林を選定する予定。

優先度区分マップ



事業名	照葉樹林復元ボランティア作業の実施	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	3-3-①	連携先	てるはの森の会
事業概要 (目的)	中尾国有林にて、照葉樹林復元のための間伐作業及び森林の散策を実施した。		

【平成 26 年度 第 1 回：平成 26 年 11 月 29 日】

宮崎県綾町中尾国有林 2045 い 1 林小班において、平成 26 年度第 1 回照葉樹林復元ボランティア間伐及び森林の散策等が開催され、昨年度に引き続きソーラーフロンティア社（本社、宮崎・国富工場）の職員及び家族 30 名並びに立命館アジア太平洋大学学生 4 名（別府市）が参加し実施された。

参加した職員・家族は、間伐・玉切り作業が初めて、森林に入るのも初めての人が多く、興奮気味に「鋸を使うのは初めて。伐採作業ができるなんて、貴重な経験となりました」、「会社として生物多様性に取り組んでおり、来年も継続し参加したい」、「森林の散策では、山での生活の歴史や照葉樹林を含めた動植物について、貴重な話が聞けて良かった」などの声が聴かれました。

【平成 26 年度 第 2 回：平成 27 年 2 月 21 日】

宮崎県綾町中尾国有林 2045 よ 林小班において、平成 26 年度第 2 回照葉樹林復元ボランティア間伐及び森林の散策等が開催され、信州大学地域戦略センター 1 名（韓国からの留学）、宮崎大学 5 名、南九州大学 2 名、立命館アジア太平洋大学 1 名（別府市）の大学関係者と学生及びてるはの森の会会員 9 名、綾町民、水源の森関係者を含めた 23 名が参加し実施された。

参加した大学関係者・学生は、森林・林業関連を学んでいるが間伐・玉切り作業は初めての人が多く、「自分の力で初めて木を倒した。貴重な経験となりました」、「綾プロでは、韓国や長野県になり取組を行っており、今後も注目していきたい」、森林の散策では、「照葉樹林を含めた動植物の生態やトロッコ道跡、炭焼き跡など山に生きた先人の歴史について、貴重な話が聞けて良かった」などの声が聞かれました。



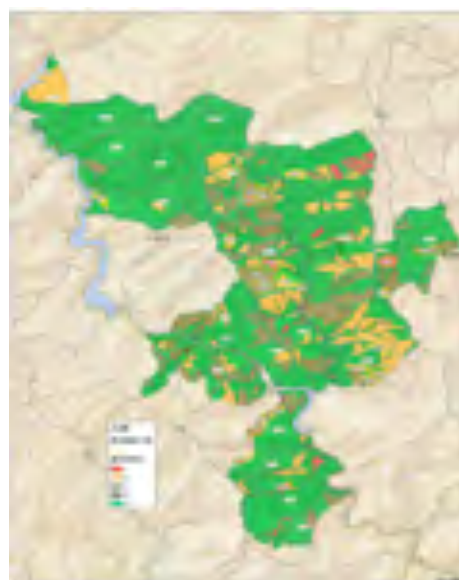
事業名	照葉樹林復元の間伐試行モニタリング及びシカ生息密度・復元の優先度区分に関する調査業務	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画-実施項目	4-2-②	連携先	NACS - J
事業概要 (目的)	復元エリアN o 3, 5, 6 (人工林及び二次林) において、復元のための間伐試行伐採モニタリング及びシカ生息密度・復元の優先度区分に関する調査を実施。		

空中写真による探索および現地確認調査を行った結果、綾プロジェクトエリアの復元エリア3、5、6のすべての林小班について優先度区分を設定した（貸付地は除く）。優先度区分1として16林小班が抽出された。これらの林小班は、高木層の人工林を間伐することで、早期に照葉樹林への復元が可能と考えられる。

優先度区分2として69林小班が抽出された。優先度区分2はスギ・ヒノキが高木層を被っているものの、林冠下に照葉樹の亜高木層や低木層が生育している人工林である。効果的な間伐手法を用いて復元を促進させるための林内パッチを作るとともに、現生稚樹をいかに残していくかが課題である。優先度区分2の人工林の状態は幅が広いことが予想されるため、現場の状況に応じて柔軟に復元を行う必要がある。

優先度区分3として84林小班が抽出された。これらの林小班は地形的な理由、履歴、シカの影響等により、下層木が成長していない人工林である。適宜間伐を進めるとともに、伐り置き残材やシカネットを用いて、シカ対策を並行して進める必要がある。

林班	優先度区分					総計
	1	2	3	4	5	
2095	1		3		17	21
2096					5	5
2097	3	3		1	15	22
2098		2	2		4	8
2099	1	3	6		8	18
2100		2	8		8	18
2101		1	5		8	14
2121		1	3		7	11
2122	1	2	1		11	15
2126		2	1		15	18
2127					14	14
2128			1		4	5
2129					4	4
2130		2		1	7	10
2134		3	5		6	14
2135	1	7	12		9	29
2136	1	2	6		9	18
2137		7	8		10	25
2138					21	21
2142	2	9	2		13	26
2143	5	22	9		48	84
2163	1	1	7		6	15
2169			5		12	17
総計	16	69	84	2	261	432



事業名	調査データの共有化のためのデータベースサイトの運営(継続)	実施主体	N A C S - J
項目-行動計画- 実施項目	4-5-③	連携先	てるはの森の会
事業概要 (目的)	綾プロで作成されたさまざまな情報を一括管理し、関係者で共有できるシステムを構築し、運営する。		
SISPA（戦略的保全地域情報システム）のデータベースの構築はできたが、担当職員の退職などで現在運用ができていない状態である。今後、運用方法も含めて再度検討する予定である。			

事業名	環境教育のための行動計画を策定	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	5-1-①	連携先	連絡会議各機関
事業概要 (目的)	森林環境教育基本計画を策定するため専門家へのヒアリングを実施。		

森林環境教育基本計画を策定するに部会を設置し検討を進めているところであるが、基本計画策定に向けた中間とりまとめを報告し有識者からの助言等を受け、今後の森林環境教育基本計画策定に資するため、平成26年12月25日に有識者を招いてヒアリングを実施した。

【有識者】

- ・宮崎大学農学部 教授 西脇 亜也
- ・南九州大学 人間発達学部 教授 遠藤 晃

【綾の照葉樹林プロジェクト】

- ・九州森林管理局：計画課長（近藤）、森林施業調整官（松永）、生態系保全係長（谷貝）
- ・宮崎森林管理署：署長（崎野）、地域林政調整官（原田）、総括森林整備官（上別府）
- ・宮崎県：梶原
- ・綾町：河野（耕）、河野（円）
- ・日本自然保護協会：道家
- ・てるは森の会：相馬、林、下村

【有識者からの意見】

基本計画の骨子については、異論はなかった。

ESD の考えを入れ込むこと。

フィールドを利用し易いように、広くオープンにすることが重要である。

対象地を管理する行政機関が3つに別れているので、実施計画は基本的なガイドラインを揃えて、それぞれ作るのがいいのではないかと意見が出された。



事業名	照葉樹林環境教育講座	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	5-1-③	連携先	
事業概要 (目的)	綾小中学校生に対する環境教育の実施 ESDの視点を取り入れた自然体験		

※今年度は、綾町が単独で実施。

■小学校は、独自にネイチャー・ゲームを実施した。

1 日 時：平成26年5月29日（木）

2 場 所：綾神社～野首遊歩道

3 内 容：小学4年生75人

■綾中学校で、「綾の自然について」講話を行った。

1 日 時：平成26年5月22日（木）午前10時30分～午後12時

2 場 所：綾中学校 体育館

3 内 容：中学1年生73名に対し、宮崎や綾の自然（特に照葉樹林）の紹介と、自然観察のポイント、ユネスコエコパークなどについて説明した。紹介した生き物の種類数や生態について質問が出た。



照葉樹林の説明



ユネスコ エコパークの説明



質疑応答

事業名	生涯学習講座(継続)	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	5-1-③	連携先	
事業概要 (目的)	「自然と調和した豊かで活力に充ちた教育文化都市・綾」を創出するため、綾の植物を中心とした自然や歴史、文化について専門家の講義を聴くことで、町民の郷土愛を育み、綾の地域づくりの一助とする生涯学習講座を継続して実施。		

講座実施状況 6月から実施 延べ 201名参加

回数	日程	参加人数	開催場所	内 容	講 師
第1回	6月12日 (木)	20名	竹野	里山の植物を観察	河野円樹
第2回	7月8日 (火)	19名	麓周辺	綾小学校周辺・寺跡を散策	河野耕三
第3回	8月12日 (火)	23名	入野地区(宮原)	里に多い植物、文化	河野円樹
第4回	9月9日 (火)	21名	野首谷遊歩道	里地・里山の植物観察	河野耕三
第5回	10月14日 (火)	20名	倉輪	秋の植物の観察	河野耕三
第6回	11月11日 (火)	20名	川中セリビ-基地	後藤宅跡・炭焼き釜跡紹介他	河野耕三
第7回	12月9日 (火)	19名	大口県有林	トレッキングコースを散策	河野耕三
第8回	1月14日 (火)	24名	役場周辺	トロッコ道・町並み散策	河野耕三
第9回	2月10日 (火)	17名	上畑	森と里の境界の植物観察	河野耕三
第10回	3月10日 (火)	18名	古谷	町指定エノキ等の植物観察	河野耕三

※ 上記の定期講座の他に、参加者を募り式部岳～掃部岳に登山した。

日程：4月27日(土) 講師：河野耕三 参加人数 6名



竹野の道路沿いにて、植物観察



野首谷遊歩道を散策

事業名	遊歩道整備ボランティア作業(継続)	実施主体	てるはの森の会
項目－行動計画－ 実施事項	5-2-②	連携先	宮崎県・綾町
事業概要 (目的)	照葉大吊橋付近の県有林遊歩道を整備し、新たな散策ルートとして活用する。		

◆ 遊歩道整備

今年度は遊歩道の下草刈りは実施しなかった。

他、遊歩道沿いで展望のよい場所がないかボランティアが調査した。



◆ ガイド

2014年11月30日に新富町山岳会7名を「照葉樹林トレッキングコース」にボランティアガイドが案内した。

事業名	会員情報	実施主体	てるはの森の会																						
項目-行動計画- 実施項目	6-1-②	連携先	全																						
事業概要 (目的)	一般社団法人に移行し、それに伴い、会員組織の見直しを行った。																								
一般社団法人移行に伴い、会則を変更した。 会員は次の3種とし、正会員をもって一般社団法人に関する法律上の社員とする。 (1) 正会員 当法人の目的に賛同して入会した個人又は団体 (2) 賛助会員 当法人の事業を援助するために入会した個人又は団体 (3) 名誉会員 当法人に功労のあった者又は学識経験者で、社員総会で推薦された者 (2) 賛助会員について 賛助会員は個人サポート会員、団体サポート会員、法人サポート会員の3種類。 家族会員は、個人会員に移行した。 登録期間が、4月から翌年3月までの1年間となり、会費納入時期が4月に変更された。 ○賛助会員数：H27.3.18現在 <table><tr><td>個人サポート会員</td><td>113件</td><td>(+5)</td><td>前年比</td></tr><tr><td>法人サポート会員</td><td>20件</td><td>(-4)</td><td></td></tr><tr><td>団体サポート会員</td><td>5件</td><td>(-9)</td><td></td></tr></table> ○会費収入 542,000円(+50,315) ○寄付金収入 350,062円 <table><tr><td>ロータリー支援金</td><td>100,000</td></tr><tr><td>企業寄付</td><td>222,062</td></tr><tr><td>個人寄付</td><td>28,000</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>350,062</td></tr></table>				個人サポート会員	113件	(+5)	前年比	法人サポート会員	20件	(-4)		団体サポート会員	5件	(-9)		ロータリー支援金	100,000	企業寄付	222,062	個人寄付	28,000			計	350,062
個人サポート会員	113件	(+5)	前年比																						
法人サポート会員	20件	(-4)																							
団体サポート会員	5件	(-9)																							
ロータリー支援金	100,000																								
企業寄付	222,062																								
個人寄付	28,000																								
計	350,062																								

事業名	市民参加による自然林の復元調査(継続)及び自然林の調査(継続)	実施主体	NACS-J
項目-行動計画- 実施項目	6 - 1 - ③	連携先	九州森林管理局 てるはの森の会 綾町
事業概要 (目的)	自然林調査、林床植生調査、データロガーのメンテナンス 間伐前後の林床植生をボランティアの方とともに調査を行い、復元の状況を把握するとともに参加している方々が復元の状況を確認し、今後の方針などを検討するための基礎資料とする。		
2014年6月24日ボランティア4名で大森岳登山道周辺に設置した自然林プロットの林床植生調査を実施した。5m×5mのプロット内に山頂(1100m)では11種、P2(900m)では12種、P3(800m)では、10種が観察された。ただし全体の植被率は5～30%と低かった。  2015年2月10日にボランティア9人が参加し、2009年11月9日に見本林で行った調査の5年後の再調査を行った。ボランティアによる間伐を行った場所であるが、間伐が不十分であること、シカによる食害の影響などで林床の植被率は10%以下であり、種数は20種程度であった。  2015年2月11日には、掃部岳周辺に設置したデータロガーの回収及び再設置を行った。山頂部の1200m以上は南限域のブナ林が見られる場所であるが、ニホンジカによる食害や温暖化の影響が懸念されており森林の変化を継続してモニタリングしている。 			

事業名	ホームページ等による情報発信及びリーフレット(英語版)の作成	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	6-2-③	連携先	てるはの森の会
事業概要 (目的)	綾の照葉樹林プロジェクトにおける各種取り組みについてホームページ等に掲載し広く情報を発信するとともに国際的な普及啓発のためリーフレット(英語版)を作成する。		

○九州森林管理局のHPに平成26年度までの各種取り組みについて掲載した。

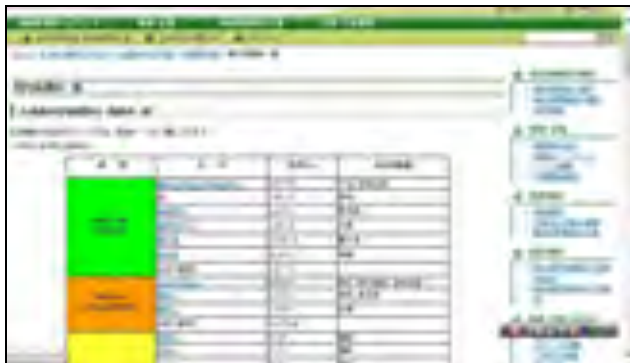
<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/aya/torikumi.html>



○リーフレット(英語版)については作成されていない状況であるが、今後作成に向けて取り組んでいくこととする。

事業名	保護林等の情報に関する HP の充実	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	6-2-③	連携先	
事業概要 (目的)	綾の照葉樹林プロジェクトエリア内における保護林や緑の回廊に関する調査報告書を HP 上で公開する等、保護林等に関する情報の充実を図る。		

○九州森林管理局のHPに綾プロジェクト内の保護林を含む、九州森林管理局管内の全保護林についての概要等を掲載した。
<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/fukyu/policy/business/keikaku/hogorin/ichiran.html>



○九州森林管理局のHPに綾川上流緑の回廊の設定について掲載した。
<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/keikaku/midorinokairou/ayagawajyouryuu.html>

○九州森林管理局のHPに平成26年度における各種取り組みについて掲載した。
<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/aya/torikumi.html>

○林野庁HP「保護林等に関する調査報告書」の中で、平成22年度以前の保護林や緑の回廊に関する各種調査報告書を掲載した。
http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kakusyu_siry/houkoku_top.html

事業名	普及啓発事業(継続)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画 -実施項目	6-2-③	連携先	全
事業概要 (目的)	ホームページの更新やニュースレターの発行、イベントでの展示ブース出展等の広報活動を行なう。 ホームページ上にて報告書を掲載。		

○てるはの森の会のホームページ
<http://teruhanomori.com/>



○てるはの森の会 facebook



○広報誌「照葉樹林だより」の発行

- ・第38号 7月20日発行
- ・第39号 11月30日発行
- ・第40号 2月10日発行
- ・第41号 3月31日発行



照葉樹林だより 第41号

○2013 綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画報告書

<http://teruhanomori.com/wp-content/uploads/00e527e6947e067947765ad93b237d38.pdf>

○2013 綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画報告書 新聞記事集

<http://teruhanomori.com/wp-content/uploads/1ea2662ad35127cea47349e43a4af574.pdf>

事業名	照葉樹林文化シンポジウム運営補助	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	6-2-④	連携先	綾の自然と文化を 考える会
事業概要 (目的)	実行委員会に対する補助。 昭和 60 年 3 月に「照葉樹林都市宣言」をし、その年に第1回照葉樹林文化 シンポジウムが開催され、今回で 19 回目を迎えた。 周辺地域の神楽を参考に、「綾神楽」の復元を目指す。		

日 時
場 所
参加人数

平成27年3月8日（日）午後 1 時30分～午後5時30分
綾川荘 大広間
約40名

交流会 午後6時～8時

開会挨拶	シンポジウム実行委員長 郷田美紀子 綾町長 前田穰
基調講演	高見乾司氏による基調講演 「綾神楽復元への旅～森があって神楽があった」 ・全国、及び宮崎の神楽分布について説明。 ・綾の郷土史に「綾神楽」についての記載があることを発見。現 在残っている 1 曲の神楽と資料等を比較すると、綾神楽は、宮 崎平野から綾川流域にかけて分布する巨田神楽、新田神楽、新 富神楽などの系譜に属し、山続きの米良神楽の影響を反映した 神楽だったと推測される。これをもとに、綾神楽の復元を目指 していく。
パネルディスカッション	パネリスト 鬼頭秀一氏（東京大学名誉教授） 池辺宣子氏（ひむか村の宝箱代表）、 黒木幸之助氏（神職）、高見乾司氏 コーディネーター：永山倫太郎氏（風人の宿代表）





1 曲残っている綾神楽

西米良村の村所神楽奉納（来賓）

事業名	第5回照葉樹林研究フォーラムの開催	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画- 実施項目	6-2-④	連携先	連携会議各機関
事業概要 (目的)	学識経験者・市民を交えての「照葉樹林」に関する学習機会を設け、プロジェクトの普及・啓発を促進する。		

今年度は、照葉樹林研究フォーラムは開催しなかったが、一般社団法人てるはの森の会 設立記念会にて講演会をおこなったため、これを充当する。

一般社団法人てるはの森の会 設立記念会

「100年先の未来を見つめる綾の森づくり ～市民・事業者・行政で創る「森」と「まち」～」

目的：任意団体から一般社団法人へ移行したことを受け、綾プロの活動を確実に進め、100年先の未来へバトンタッチして行くために何が必要か、財政面から考える講演会を開いた。

日時：2014年6月5日（木）14時から

場所：宮崎市民プラザ4階ギャラリー

参加者数：約70名

内容：講演「綾からの新たな発信 ～協働で行うまちづくりのスタイル～」

講師 中島淳

事例発表「照葉の森 恩返しプロジェクト」

発表者 ソーラーフロンティア(株) 環境安全室長 宮石孝司



事業名	綾プロ設立 10 周年事業の準備	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画 -実施項目	6-2-④	連携先	全
事業概要 (目的)	2015 年に協定締結満 10 年を迎える。それを記念した事業を計画し、準備を行う。 ①綾の照葉樹林プロジェクトの存在をアピールする。 ②綾の照葉樹林プロジェクト10年を振り返り、これからについて考える。		

「綾プロ10周年」記念事業計画（実施年は2015年）

①「森へ行こう！」&お祝いイベント【5月17日（日）】

… 綾の森&綾照葉大吊橋広場&森の驛

内容：森の散策を行い、その後綾照葉大吊橋広場にてお祝いイベントを行う。

森の散策：2コース各20人（参加料1,000円）

振る舞いシシ汁100人

②「まちと森林(もり)をつなぐ木づかい全国キャラバン in 綾」

【7月25（土）】… 綾町高年者研修センター

内容：子どもたちを対象に、木のおもちゃに触れ、木の良さを感じてもらう「木育キャラバン」イベントを開催する。

③「記念フォーラム」【9月4日（金）or 5日（土）】

内容：綾プロ10周年の記念式典を行うとともに、今後について話し合う。

④「記念誌」の発行

編集委員会を開催し、詳細を決める。

⑤「こうみんかんさいせい公民館再生」事業

てるはの森の会事務所を旧上畑公民館に移転する。

「森へ行こうチラシ」



「森へ行こうチラシ」

事業名	事業説明会の開催	実施主体	九州森林管理局
項目-行動計画- 実施項目	6-2-⑤	連携先	連絡会議各機関
事業概要 (目的)	綾町町民等を対象に事業説明会を開催し、各機関での取組を説明する。		

○昨年まで連携会議日夜に単独で開催していた綾プロ事業説明会は、多くの方に広報するため、新たに綾町公民館大会の場で行うことに変更された。

協定5者の代表として崎野健輔宮崎森林管理署長が説明を行った。

平成27年2月15日に綾町公民館文化ホールにおいて、綾町民約600名が参加する中、綾の照葉樹林プロジェクトの5者による協働の取組について説明するとともに、平成27年度は綾プロが10周年を迎えることから記念行事等への支援・参加をお願いした。



事業名	照葉樹林ガイドボランティア事業の実施	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画 -実施項目	6-3-①	連携先	綾町
事業概要 (目的)	① 照葉樹林ガイドボランティア実践活動 ② プロジェクトの視察、広報 ③ 綾の沢調査の実施協力		

① 照葉樹林ガイドボランティア実践活動

綾町照葉樹林の代表的景勝地大吊り橋周辺遊歩道2kmをボランティアガイドの案内で散策する。

参加者合計 18回 212名

実施月	実施回数	参加者数	実施月	実施回数	参加者数	実施月	実施回数	参加者数
4月	1回	2人	8月	なし		12月	1回	12人
5月	3回	4人	9月	3回	46人	1月	なし	
6月	なし		10月	なし		2月	1回	23人
7月	3回	20人	11月	6回	104人	3月	1回	1人

- ・上畑体験ツアー12月7日に実施した。参加者は13名
- ・ガイドスキルアップ講座は下見を兼ねて3回実施した。参加者は13名

② 視察対応

計 5 回

6月22日	日	立命館アジア大学学生	7名
7月23日	水	沖縄県森林管理部	2名
8月7日～8日		JICAイラン	4名
8月20日	水	JICAマレーシア	4名
11月10日	月	林業経済学会	45名
12月4日	木	総合地球環境学研究所	2名

③ 広報

下記を含む 計 18 回

6月5日	木	一般社団法人設立記念会	市民プラザ
6月6日～9日		照葉樹林サミット in 屋久島	屋久島
6月30日	火	宮崎県地域環境保全功労者等表彰	市民文化ホール
8月21日	木	ESD人材育成事業発表会	東京
11月1日～6日		命ゆたかな綾展	綾ふれあい館
11月8日～9日		命ゆたかな綾展	綾町総合文化祭
11月12日～13日		ESD世界会議	名古屋
12月11日～13日		エコプロダクツ2014	東京ビッグサイト
12月18日	木	協働力を磨く職員研修	宮崎県庁

④綾の沢調査

- ・釜山アジアベントス学会 コバントビケラのポスター発表
- ・3学会宮崎例会（動物学会九州支部、九州沖縄植物学会、生態学会九州地区）
「綾の沢調査」研究発表

事業名	森林セラピー基地整備事業	実施主体	綾町
項目-行動計画-実施項目	6-4-①	連携先	
事業概要 (目的)	日本有数の照葉樹林地帯である綾町は、平成 19 年 3 月 22 日に「森林セラピー基地」としての認定を受けた。そこで照葉樹林を含めた森林地帯をますます有効な地域資源として活用するため、森林・産業・観光・健康増進を組み合わせ、地域振興に資することを目的とする。		
① 森の案内人定例会 森林セラピーに従事していただく森の案内人（25 名）による定例会を開催。毎月定例にすることで、案内人同士のセラピーに対する考え方の統一性を図り、またお互いの情報交換やスキルアップをしている。 ・案内実績 172 名（町内 23 名、町外 149 名）※取材等も含む ・定例会実績 10 回 ・役員会 2 回 ・コース清掃 1 回 ② 森林セラピー関係機関会議 九州・沖縄の森林セラピー基地の集まり、「九州・沖縄森林セラピー基地ネットワーク会議」が 4 年を経過し、会員となる基地も 11 カ所になった。本町は副会長ということで、任期の 2 年が終了となった。 ・総会 1 回（福岡県篠栗町） ・担当者会（基地持ち回り） 3 回（熊本県水上村、鹿児島県霧島市、福岡県うきは市） ・イベント 「森コン」大分県大分市で開催 ※森林セラピー基地を活用した婚活イベント ③ コース等整備 新規コース設定なし。川中コースとまちなかコースをうまく利用し、梅雨時期から夏場、台風シーズンには、町内業者にコースの巡回と補修箇所があれば補修をお願いしている。			
毎月 1 回の定例会（毎週第 2 月曜日）  ネットワーク会議主催イベント			

事業名	地域づくりワーキングの設置と運営	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画- 実施項目	7-1-①	連携先	綾町
事業概要 (目的)	地域づくりWGは、綾プロジェクトの推進体制や当プロジェクトを活用した地域振興等に関する事項を検討することを目的とする。 全8回実施 参加人数 117人		

平成24年より綾町の地域自然調査(MAPづくり)を進めている。昨年度フットパスコース策定を実施したので、パンフレットの内容について検討を重ね、上畑地図(修正版)と3種のパンフレットを作製した。実施方法の検討、提案も行った。

また、小さな町で地域おこしに頑張っている「西米良村」のイベントに参加、地域の人と意見交換を行う、視察研修を実施した。

	日 程	講 座 内 容	参加数
1	H26.7月29日(火) 19:00~21:00	今年のフットパス事業について 今後の進め方	12人
2	H26.8月25日(月) 19:00~21:00	今年のフットパス事業について、今後の進め方 編集委員会について、運営体制について	11人
3	H26.9月30日(火) 19:00~21:00	編集委員会報告、 綾フットパスの目指すところ	9名
4	H26.10月29日(水) 19:00~21:00	編集委員会報告、 綾フットパスのネーミングについて、今後必要な整備	10名
5	H26.11月26日(水) 19:00~21:00	編集委員会報告(ネーミングについて) 運営体制について	12名
6	H26.12月16日(火) 18:00~19:00	今年度の感想と今後運営について	14名
7	H27.2月27日(金) 19:00~21:00	町営宿泊施設について 西米良村視察研修について	9名
8	H27.3月29日(日)~ 30日(月)	西米良村視察研修	7名



10月29日



3月30日

事業名	照葉大吊橋森の驛運営事業	実施主体	てるはの森の会・
項目-行動計画 -実施項目	7-1-②	連携先	綾町
事業概要 (目的)	照葉大吊橋食堂跡地において、「てるは森の驛」(1F:無料休憩所、照葉樹林に関するビデオコーナーやパネル等を展示、2F:木のおもちゃで遊べる木育体験コーナー、3F:飲食物を提供する軽食堂)を運営する。		

○3F: 飲食物を提供する軽食堂「てるは森の驛」

○2F: 木育広場として活用



食堂のようす



木育広場

○1F: 森の紹介ビデオコーナー



ビデオコーナー

事業名	ふれあい調査(継続)	実施主体	てるはの森の会
項目-行動計画- 実施項目	7-1-③	連携先	綾町
事業概要 (目的)	地域の人たちと自然とのふれあい(土地の自然に対する思い、生活での自然との かかわり、照葉樹林とのかかわり等)を調べることで、地域の自然とくらし、文化、歴 史など地域の価値を再発見する。これを照葉樹林プロジェクトにおける資料として 活用し、人々の思いを大切にしながら、住民参加のもと、照葉樹林の保護・復元 を進めるものである。		

本年度は、杣道地区のふれあい調査の聞き書き集を作成。
また、新たなふれあい調査地として、川中の検討を開始した。

◆事業実施回数

杣道地区：全6回、延べ40名
(マップの発表、記録集の作成)
川中地区：全3回、延べ29名
(現地調査、聞き取り、アンケート)

◆事業実施内容

	実施日	内容	出席者数
1	8月31日	杣道地区成果発表会・検討会	15人
2	9月1日	川中地区製材所跡現地調査	9人
3	1月19日	川中地区(阿弥陀仏洞穴)現地調査	13人
4	2月22日	検討会・アンケートの実施	7人
5	8月～3月	記録集編集作業5回	延べ25人



杣道 聞き書き集



川中 ふれあい調査検討会

事業名	ユネスコ エコパーク推進事業 綾ユネスコ エコパークの推進計画 策定	実施主 体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	7-3-①-1	連携先	
事業概要 (目的)	ユネスコ エコパーク推進の根幹となる推進計画の策定		

- 綾ユネスコ エコパーク（以下、BRとする）推進の根幹となる運営体制案を構築した。
（※下図参照）

新たに、綾町役場内にBR地域（主に移行地域）を管理運営する「綾町BR運営会議」を立ち上げる。BRの3つの機能である「生物多様性の保全」、「学術的支援」、「経済と社会の発展」を推進するために、その中に3つの部会（「生物多様性保全部会」、「調査教育部会」、「地域づくり部会」）を設置する。各部会は、学識経験者や役場の職員など10名ほどで構成するものとし、部会の構成委員については来年度選定し、具体的に動き始める予定である。

- 綾BRを総合的、順応的に管理運営し、関係機関相互での情報共有と調整・確認等を図るため、「綾BR地域連携協議会」を設置する。協議会は、綾町BR運営会議、綾の照葉樹林プロジェクト連携会議、綾BR専門委員会の代表者など、15名以内で組織し、来年度、第1回目の会議を開催する。



事業名	ユネスコ エコパーク推進事業 協議会の運営	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	7-3-①-2	連携先	
事業概要 (目的)	ユネスコ エコパーク(BR)における持続的な地域づくりを実現するために、各種協議会を立ち上げる。		

■綾BR専門委員会(有識者等9名で構成。BRの推進について科学的知見から指導・助言を受ける。)

①第2回開催：平成26年6月23日(月)

委員全員出席

綾プロの事業報告及び計画、BR推進計画
基本方針や行動計画などについて説明。



②第3回開催：平成27年2月9日(月)

委員全員出席

設置要綱の改定や今後の運営体制などについて説明。



■まちづくり協議会(町民36名で構成。BRについて町民の理解を深め、積極的なまちづくりへの参加を促進する。)

①総会開催：平成26年8月5日(火)

協議会会員42名中36名出席

規約や事業計画案、収支予算案等について承認を得た。会長・副会長・監事を選任した。



②役員会開催：平成27年2月2日(月)

協議会役員8名中8名出席

ワーキング会議の経過報告を行い、平成27年度の活動計画案などについて承認を得た。



③ワーキングの実施：8月～12月の間、月1～2回実施。ワーキング委員30名が参加。

A、B、Cの3グループに分かれて話し合い、グループ別にテーマを絞りこんだ。(A：環境美化 B：子供の自然力を高める C：町内の情報を集約・発信するセンターの設立)

AとBについては、継続審議、Cについては、来年度の事業化を目指すこととなる。

事業名	ユネスコ エコパーク推進事業 自然観察指導員連絡会の運営	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	7-3-①-3	連携先	日本自然保護協会
事業概要 (目的)	宮崎県自然観察指導員同士の交流と技能向上を目的とする。		

■自然観察指導員と行く“夏の綾川渓谷溪流くだり（ユネスコ エコパーク登録2周年記念イベント）の下見を兼ねた研修会の実施

(1) 日 時：平成26年6月28日（土）午後1時～4時 場所：綾南川「川の駅」～「千尋の滝」

(2) 出席者：自然観察指導員 13名

■自然観察指導員と行く“夏の綾川渓谷溪流くだり（ユネスコ エコパーク登録2周年記念イベント）の実施

(1) 日 時：平成26年9月6日（土）午前8時30分～午後2時 場所：綾南川上流、上畑公民館

(2) 参加者：一般募集 6名（大人3名、子ども3名）、スタッフ 12名

■「九州自然協議会 in 綾」の実施

1 (1) 日 時：平成27年2月21日（土）午後12時30分～5時 場所：高年者研修センター

(2) 出席者：主に九州管内で活動している自然観察指導員 34名

(3) 内 容：講師5名によるパワーポイントや資料を用いた講義と意見交換

環境省、宮崎県、綾町、日本自然保護協会の各担当者が、「生物多様性に関する取組み」について、九州環境パートナーシップオフィスが「九州の環境教育の現状と今後の展望」について講義を行った。

2 エクスカーション実施 平成27年2月22日（日）午前9時～午後12時

(1) 「猟師と歩く綾の森（大口県有林）コース」

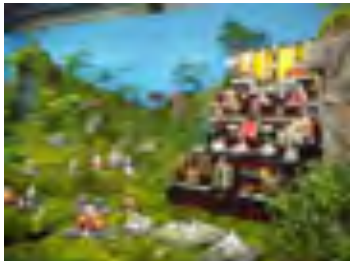
(2) 「雛山巡りコース」



2/21 室内講義



2/22 綾の森散策



2/22 雛山巡り

事業名	ユネスコ エコパーク推進事業 持続発展教育(ESD)とユネスコスクールの推進	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	7-3-①-4	連携先	
事業概要 (目的)	子ども達が問題意識を持ち、それを解決に導く力を身につけるように指導し、生きる力を養う。小学校と中学校と連携して行うことで、子ども達のコミュニケーション能力を高め、学力向上に結びつけていく。		

- 小中学校ともに ESD カレンダー（関連教科等を繋げた年間指導計画）を作成し、来年度の本格的な実施に向け、校内研修を実施している。

総合的な学習の時間を中心として ESD を推進していくという学校の認識が深まってきた。今後、ESD カレンダーを基盤に、探究的で学び方そのものを重視した総合的な学習の時間について、学校の全職員による継続的な取組をしていく。

- 平成26年5月21日（水）綾小学校の職員研修を実施。

南九州大学の遠藤教授による概要説明の後、都城市丸野小学校の河野教諭による持続的環境教育の事例発表が行われた。今後、子供達がグローバルな社会を生きていく上でも、ただ単に知識を詰め込むのではなく、主体的に問題解決に取り組む力、生きる力を培う必要がある。主体的な取り組みが出来るように、学びに火をつけることが重要とのことであった。



遠藤教授の説明



河野教諭の講話

事業名	ユネスコ エコパークとの連携	実施主体	綾町
項目-行動計画- 実施項目	7-3-②	連携先	
事業概要 (目的)	綾ユネスコ エコパークと連携することで、綾プロの認知度を高め、活動を活性化 する。		

■ユネスコ エコパーク登録2周年記念イベント（自然観察指導員と行く“夏の綾川渓谷溪流くんだり”）の実施

- 1 日 時：平成26年9月6日（土）午前8時30分～午後2時
- 2 場 所：綾南川上流、上畑公民館
- 3 参加者：一般募集 6名（大人 3名、子ども 3名）、スタッフ 12名
- 4 内 容：7/13（日）に開催予定であったが、悪天候のため、9/6に延期。大淀川流域ネットワークより2名、宮崎県自然観察指導員4名の補助のもと、ライフジャケットとヘルメットを着用して、河原を歩いたり泳いだりしながら、綾南川を約700m下った。

■ユネスコ エコパーク関連資料編纂作業

70～80 代の役場退職者 9 名などを中心に、聞き取り調査を行い文書化している。綾町の郷土誌や報告書等の文献を用いて、聞き取った内容・年月について、検証作業を行っている。



9/6 溪流くんだり



青空市場（1977年撮影）

■綾ユネスコ エコパーク年間活動 平成26年度活動実績 204日277回

6月に南アルプスと只見が新規登録されたのにもない、静岡県や福島県などのマスコミからの取材が相次いだ。その他の地域でも、新規登録を目指す動きが活発化してきている。

- 1 視察対応 40団体
- 2 会議及び講演等の実施 20回
- 3 取材対応 11社以上

■綾ユネスコ エコパーク新規パンフレット（3カ国語版）作成

日本語版：1万部、英語版：3千部、韓国語版：3千部を印刷し、大吊橋、綾城、観光案内所などに設置している。

事業名	綾 BR(ユネスコエコパーク)地域 生物調査 及び 地域戦略 策定事業 (継続)	実施主体	綾町
項目－行動計画－ 実施事項	8－1－③	連携先	日本自然保護協会 てるはの森の会
事業概要 (目的)	住民参加型の生物多様性地域戦略策定に向けて、(ア)生物多様性地域戦略作成・策定事業、(イ)生物多様性再生区域整備事業、(ウ)生物多様性普及啓発事業をおこなった。		
(ア) 生物多様性地域戦略作成・策定事業			
	内 容	備 考	
協議会 開催と 戦略策定	綾生物多様性協議会での検討会 2014年5月29日～2015年2月19日まで、全約20回開催 (内容)生物多様性地域戦略案の検討、校正、編集、策定	延べ93名参加 戦略冊子1000部 概要版4000部印刷	
意見の収 集・反映	地域戦略策定に向けて関係者におこなった意見の収集・反映等 〔綾町エコパーク兼務職員、綾町全課、綾プロ、綾町環境審議会 綾町ユネスコエコパーク専門委員会〕		
(イ) 生物多様性再生区域整備事業			
	内 容	備 考	
検討会	整備内容の検討をボランティアとともにおこなった 2014年6月12日～10月29日まで、全3回開催	延べ46名参加 設計意図書作成	
再生区域 の整備	再生区域の整備をビオトープ管理士とおこなった。 2014年4月～2015年2月 区域の整備 他、草刈り作業の実施		
モニタリ ング	ボランティアと整備のためのモニタリ ングをおこなった。 2015年2月1日 野焼き整備の実験 2015年2月27日 希少植物の移植	延べ20名参加	
広報等	観察会の開催 2014年7月29日 20名参加 愛称を公募し、決定した「綾トープはっけんじま」 2015年1月9日、23日 選考委員会 看板の作成・設置		
(ウ) 生物多様性普及啓発事業			
	内 容	備 考	
地域戦略 関連	パブリックコメントの募集 地域戦略の活動報告 2015年2月21日 九州自然協議会 in 綾内		
生物調査 関連	前2カ年でおこなった生物調査の結果をもとに展示会を開催 2014年11月1～5日綾ふれあい館、11月8、9日綾町体育館 2014年12月11～13日東京ビックサイト		



発 行：平成 27 年 6 月

発行者：綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画 連携会議

編 集：一般社団法人てるはの森の会

お問い合わせ先：

〒880-0014 宮崎県宮崎市鶴島 2 丁目 9-6 みやざき NPO ハウス 403 号室

TEL:0985-35-7288 FAX:0985-35-7289 電子メール:teruha@miyazaki-catv.ne.jp

ホームページ: <http://teruhanomori.com>